

## 東京電子専門学校臨床検査学科

塚田 敏彦\*

### はじめに

今春の入学式の祝辞で、私の虎の門病院臨床化学時代の恩師、故 北村元仕先生の言葉『風を受けて走れ。紳士淑女たれ』を例に挙げ、風を受けて走れ：都心なのだから新しい事にチャレンジし、先頭を目指しなさい。紳士淑女たれ：挨拶をはじめ人間としてのマナーやセンスを磨きなさい。つまり、本校でも、情報発信の副都心・池袋で、感性・センスを磨こうと挨拶した。本校は専門学校の草分けであり、マナーの面でも、本校の教育方針は『礼節を重んじる』で一致しています。

本校は68周年の歴史を有し、東京の副都心・文教芸術地区の池袋に位置する都市型キャンパスで、JR池袋駅東口から徒歩5分、サンシャイン

シティーの中間に位置し、恵まれた周辺の環境と交通機関の充実で、学生は関東圏をはじめ、静岡県や山梨県からも通学しています。伝統の学舎には挨拶をかかさない、清潔なセンスのよい学園です(図1)。

### I. 本学の概要

東京電子専門学校は、1946年創設者 山口日出光により、現在の東池袋に東京ラジオ技術講習所を建設し、学生を募集。開校当時、わが国唯一のラジオ技術学校として発足しました。1955年には専門学校としてわが国最初の学校法人(大学組織に準ず)に昇格しました。卒業生は10万人にもなろうとしています。本校出身の子弟ばかりでなく、祖父が本校出身の学生も入学するようになりました。



図1 キャンパス全景

\*臨床検査学科 tsukada@tokyo-ec.ac.jp

医療系学科としては、1967年に医学と、電子・電気工学を結びつけた医学電子科を他校に先駆けて開講しました。1969年には厚生大臣の認定により、診療放射線技師養成の指定校となり、更に、1973年には臨床検査技師養成校の指定を受けました。1988年には「臨床工学技士法」の制定と同時に臨床工学科の指定校となりました。関東圏の病院では臨床工学室技師長の多くは、本校出身者であることも理解できます。

現在、先端医療系として、診療放射線学科(90名)、臨床工学科(80名)、臨床検査学科(40名)を併設しており、そのほかソフト情報系、先端電子系など9学科の課程をもって、各専門分野の先端技術者の育成に専心しております。

## II. 本学科の教育目標

東京電子専門学校臨床検査学科は、私が本校に赴任した2005年より『輝かせて3年間で臨床検査医学を修得、国家試験に合格、希望職種に就職すること』を教育目標とし、カリキュラムを一新。最先端かつ実践的な授業を展開しています。

出向先の病院の技師長時代に、ある専門学校の臨地実習生をお預かりし、皆さん素直で優秀な学生に感心しました。それなのに、多くの学生は留年していて、専門学校の教育に非常に憤りを覚えました。3年間で無理なく楽しく臨床検査学を学べる、今までにない専門学校を作ろうと大好きな臨床研究から心機一転し、本校に赴任しました。

### 1. 本校の特徴を活かす、医用電子技術に即対応できる技師を養成

近代化による技術発展とともに最近の臨床検査技術の分野では、心電計、超音波診断装置、自動分析装置などエレクトロニクスを応用した、最新の医用機器の導入が進められています。そこで本学科では、エレクトロニクス総合学園としての特色を活かし、現在の医用電子技術に即対応できる臨床検査技師の養成をめざしています。電子専門学校の名の通り、2台の電子顕微鏡(TM型・SM型)も設置し実習に用いています。

また、チーム医療等の講義・実習は、他の医療系学科の診療放射線学科、臨床工学科の先生方と

協力して進めています。

### 2. 新カリキュラムで学生層に沿った新しい専門学校を目指す

本学科に入学する学生の50%は既卒者である。高校卒業→大学・専門学校→就職→職業専門学校(臨床検査学科)であり、それに沿った新カリキュラムにしている。無理なく既卒者入学者にも履修できるよう考慮している。どちらかと言えば、これから大学は新卒、専門学校は既卒者優位となるでしょう。

現在は、本学科の在校生は40歳から新卒者まで、多様な経歴と年齢層になっています。子育てしながら、再チャレンジする学生も複数在学しています。また、臨床検査は多くの職種があり、何か一つは自分に適した好きな仕事の部門があります。人生これから好きな仕事で、再チャレンジ出来る世の中になるでしょう。そして、70歳まで勤務する時代になるでしょう。それを踏まえて、3年間で卒業、希望職種に再就職出来るように、学生の夢をかなえるべく応援しています。

### 3. 本学科の実践教育

#### 1) 出口から物事を考える

就職斡旋と国家資格取得の予備校を目指し、臨地実習期間を3ヵ月間と短縮、特別研究を設け、課題解決能力およびプレゼン能力を養う。7月から就活に移行する。キャリアスタッフとも連携、希望職種に就職をめざす。特に既卒入学者のために、年齢制限のない国立病院機構に特化した就活も行っています。毎年既卒者が就職しており、一昨年は32歳の学生、昨年度は2名の33歳学生も就職しました。

#### 2) 実践職業科目も単位

人気職種の超音波検査・治験コーディネーター・エンブリジスト・内視鏡検査等の実践職業教育に力を注ぎ、現場の講師を招いて実践的授業を行っています。チーム医療・内視鏡・臨床治験・法医学・予防医学・バイオ技術も単位にしています。

#### 3) 単位制の移行と特別聴講制度

留年を最小限にするため単位制に移行し、大学より1年早く国家試験に合格する(平成25年度の

国家試験は100%)ようにカリキュラムの変更を行いました。上級および中級バイオ認定もプレ国家試験として2年生全員受験しています。24年度では上級バイオでトップ10の学生、中級も100%の合格率を達成しました。

また、国家試験不合格の学生は、救済措置として1年間授業料無料の特別聴講制度があり、すべて授業を受講でき自習室や図書館などの施設も利用できます。

#### 4) 実践に沿った最新設備

実践に沿った実習をめざしています。新たに最新の4D デジタル最新超音波装置も購入しました。内視鏡装置や顕微授精装置一式、および自動血球計測器、ドライケム臨床化学自動分析装置、尿自動分析装置などの病院緊急検査室の機器を揃えています。また、オペ室の現場を再現したメディカルトレーニングセンターを用いて実習しています(図2)。

#### 5) 体験して学ぶ楽しい学園生活

40人定員の少数制のため、1人1人、愛情を持って教育しています。1年次は医療人としての心構えとして、チーム医療の講義や基礎医学実習などの学力養成です。病院見学(東京医療センター)やレクレーションとして近くのサンシャイン水族館見学も行っています。2年次は、多くが実習で

す。レポートは毎実習終了時に提出を原則としています。体育実習は本校軽井沢セミナーハウスを用い、年度末は上級・中級バイオ技術者認定受験です。3年次は臨地実習が4月から6月末までで、7月からは特別研究および就活開始です。9月から現場の講師を招いて臨床治験・法医学・予防医学・内視鏡講義および顕微授精実習など就活に直結した実践的授業を、12月以降は国家試験対策演習となります。

#### 6) その他

学生満足度調査に沿った優秀な非常勤教師陣(2年間評価の低い講師は契約をしない)を揃えています。子弟の入学者が多いのも特徴です(保護者の信頼関係が高い)。池袋は交通機関の充実で遠距離通学が可能なため、在校生は山梨県山梨市、茨城県笠間市、千葉県旭市など遠方から2時間以上かけて通学しています。授業時間を9:00~16:10、土曜も休校として負担の軽減を行っています。

#### おわりに

最高のロケーション副都心・池袋での感性・センスを磨こう!

『専門学校及早慶(創立68年)』といわれている、本校で青春の思い出を!

体外受精模擬実習に取り組む学生たち



電子顕微鏡実習室  
30万倍走査型電子顕微鏡



超音波診断装置  
(次世代4Dフルデジタルカラー)



図2 メディカルトレーニングセンター等での実習

全員3年間で卒業しよう！

『本校の臨床検査学科に入学して良かった』と  
感じる教育を目指しています。

『笑顔が素敵な臨床検査学科』は昨年度のオー  
プンキャンパスでのテーマです(図3)。

『好きなことを仕事にする』…そんな将来を  
実現するために楽しく、夢を叶えるため一緒  
に勉強しましょう。再チャレンジの既卒の社  
会人も大歓迎です！

以上のようなテーマを実現するため、私も本校  
に赴任して8年にもなりました。

まだまだ、半分しか？ 達成されていません。

臨床検査技師教育も、大学の新設が相次ぎ専門  
学校の比率が極端に減少しています。大学より1  
年短く国家資格がとれる専門学校の長所を活かし、  
職業実践課程での専門学校の役割に特化した、専



図3 笑顔がすてき  
(軽井沢セミナーハウスにて)

門学校を目指さなくてはならないのでしょうか。

最後に、緊張感と危機感をもって、本校創立  
70周年に向けてさらなる飛躍を目指したい。